

議 事 概 要

1 会議の名称

第2次長久手市子ども読書活動推進計画第2回策定委員会

2 開催の日時

平成30年2月13日(火) 午前10時から11時45分

3 開催場所

長久手市中央図書館 2階 事務室内 会議室

4 出席者

委員長	浅石卓真
副委員長	青木文美
委員	加藤七保美
委員	鈴木節子
委員	須山亜由美
委員	松本太一

※早川政枝委員 欠席1名

(事務局)

教育部長	加藤明
教育部次長	川本晋司
中央図書館長	高崎祥一郎
同主幹	二之部香奈子
同係長	近藤一英
同主任	伊藤好枝

5 傍聴者

1名

6 会議の公開・非公開

公開

7 審議の概要

- (1) 第2次長久手市子ども読書活動推進計画についての検討
- (2) その他

8 問合先

長久手市教育委員会 中央図書館
TEL 0561-63-8006

議 事 録

開会

館長 あいさつ

委員長 あいさつ

<議題1 (1)> 資料説明

委員長 それでは議題の1、資料説明を事務局からお願いします。

- 事務局 【議題1 第2次長久手市子ども読書活動推進計画書の素案説明】
- 委員長 資料の第1、2章に質問等ありますか。
- 委員 アンケートはどのように行われたのですか。
平成23年度と28年度で比較した違いが出ていますが、数値が改善された理由は分かりませんか。
- 事務局 アンケートについては、資料編31ページ以降の基礎調査報告書案にまとめました。昨年、3歳、5歳児の保護者アンケート、小学1, 3, 5年生、中学2年生は学校へアンケートを配付し答えてもらいました。改善理由については、おはなし会の参加や家の人に読んでもらったことなどが効果として現れているのではないかと考えています。
- 委員長 グラフをここに、入れないのであれば、参照ページなどを入れると分かりやすいと思います。
- 事務局 了解しました。参照先を加えます。
- 委員長 元号が変わりますので、将来の年度は西暦に統一した方がよろしいではないでしょうか。第2章の「主な成果」の項目で、平成23年度と28年度を比較してポイントの増減が分かる表記を加えるとよいと思います
- 事務局 そのようにしたいと思います。
- また、検討段階ですが、第3章 施策体系図右側の余白部分に、どの時のワークショップで取組内容の意見が出されたのか加えたいと思います。さらに、その取組に対し、第4章で具体的な目標を併記し目標値を定めたいと思いますがよろしいでしょうか。
- 委員長 よろしいと思います。
- 委員長 資料の第3、4章に質問等ありますか。
- 委員 団体貸出の冊数は市内保育園、幼稚園の全てですか。
- 事務局 そのとおりです。
- 委員 ボランティアの登録活動者は76人ですが、登録は1回行くと継続されますか。
- 事務局 全てのボランティアに、年1回登録の意思を確認しています。
- 委員 基礎調査報告書8ページの質問2ですが、お子さんの本をどのようにして手にいれていますか、という問いに対して、児童館で借りる項目がすごく少ないと思われそうですがどうでしょうか。児童館に遊びに行っている子どもは多いと思いますが、本を借りることができることを知らない子もいるのではないのでしょうか。
- 事務局 児童館に来る子どもたちは、本を読む子もいますが、ほとんどの子が遊具で遊んだり、工作したり運動をしたりして過ごすことを主としています。今後、本の貸出についてより周知していきます。
- 委員 図書館との連携を考えたとき、保育園に読み聞かせをするために図書館職員、図書ボランティアなどに来てもらうことが大切であると思いますのでよろしくお願いいたします。
- 委員長 保育園、幼稚園の目標値は内容が決まっていますか。
- 事務局 連携を始める前に必ず担当課と打合せを行うようにしていますので、具体的な取組内容などは今後検討していきます。

- 委員長 委員の皆様の中でワークショップに参加された方もみえますが、ワークショップで出された意見は反映されていますか。
- 委員 反映されていると思います。
- 委員 保育園、幼稚園の保護者へ周知が大切ですが、具体的にどのように行くと良いのでしょうか。良書とはどのようなものでしょうか。子どもには人気があるが、評価が低い本もあります。良書をどのようにして保育園の先生たちは選んでいけば良いのでしょうか。
- 事務局 中央図書館が行う選書については、司書資格を持っている職員が複数で行っています。その上で、利用者などのニーズを把握し協議しながら選定していきます。そのため、中央図書館と保育園が連携し中央図書館から良書の情報提供ができると良いと思います。
- 委員 本の天に、「保存」という意味のスタンプが押してある本があります。これは、日本図書館協会がおすすめしているリストの中の本であるため、これらを参考にするなどしたら良いと思います。また、それらの本は年月を経てもなるべく保存するように考えるとよいと思います。
- 委員 書架に出ているおすすめリストの本をそのままではなく、実際の子どもの発達などに合わせて、子どもの年齢に合った本を提供できるようにする必要があります。例えば、子どもの成長のためにはお菓子ばかり与えてはよくありません。きちんと3食採ることが大切です。子どもが喜ぶという側面に偏った本ばかり読んでいては良くないです。
- 委員長 資質の向上という面から、今後児童書の知識を深めるための児童サービスの研修を行ってみるのも良いと思います。
- 委員 保育園では、1日何冊くらい読み聞かせをしますか。
- 委員 1日につき3冊から4冊くらいです。今後の希望としては、保育士とは、違う目線で選書し、読み聞かせなどを行ってほしいです。
- 委員 学校連携の効果ですがアンケートの結果はどうでしょうか。
- 事務局 学校からは、中央図書館からの連携司書は、決まった曜日だけでなく毎日学校へ来てほしいと要望されています。
- 委員 学校図書館の貸出冊数の目標値の根拠を教えてください。
- 事務局 過去の実績から検討しました。市内全体の冊数です。
- 委員 学校連携司書の残り4人の採用計画はどのように考えていますか。

- 事務局 今回策定された計画を基に、今後検討していく予定です。
- 委員 今、クラスでなじめない子が保健室ではなく、図書室だったら大丈夫というケースが増えています。本を通して先生とつながると学校に行けるといの子がいます。そういった面があることを見てもらえると良いと思います。
- 委員 ワークショップに参加した人の意見ですが、毎日同じ職員が同じ場所に居るといことは子どもにとって安心感があります。
- 委員 学校連携司書と教職員の連携については調べ学習の補助に限定するのですか。もう少し幅のある文言を加えたらどうでしょうか。
- 事務局 検討し修正します。
- 委員 第4章、4の2 読書と遊びを結びつけた取組の充実の中で、しりととか回文とか言葉あそびという文言を加えた方が良いと思います。
- 事務局 検討します。
- 委員長 子ども読書の日などの普及について、何か具体的なイベント、企画などはワークショップで出されましたか。
- 具体的な開催場所などを記載すると前回の計画と違って良いと思います。
- 委員 保育園内の図書コーナーの整備・充実だが、地域に根ざした子育てができるの良いと思います。ワークショップでも意見がでましたが、長久手の民話、紙芝居を子どもたちに提供することで長久手の土地と人々を紹介できたら良いのではないのでしょうか。
- 事務局 ボランティアの方が長久手の民話の読み聞かせをしたこともあります。そういったことをまた考えていきたいと思います。
- 委員 ぜひ、選書の中にも入れてほしいと思います。
- 委員長 団体貸出とは、どのようなものでしょうか。
- 事務局 学校における団体貸出は、小学校の学級文庫に年間1万冊ほどを中央図書館から貸し出します。
本については、ある程度学年向けにセットになっている物があります。新しい本、ロングセラーの本などをミックスして少しずつ変えながら選んでいます。1クラスが約40～50冊です。
調べ学習用の団体貸出は、学校連携司書が30冊を30日間で学校に貸し出しています。
- 委員長 調べ学習用の団体貸出の目標値はどうでしょうか。
- 事務局 平成28年度は、約5000冊でした。調べ学習は学校から要望があった場合に対応しているものです。
目標値については、精査して検討させていただきます。
- 委員長 第5章まででいかがですか。質問は、特にないようですね。

ありがとうございました。これもちまして第2回策定委員会を終了とします。
次回は、3月15日です。よろしくお願いいたします。